

## 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 20 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	橋本克己
研究課題	19 世紀フランス写真史				
研究キーワード	フランス 19 世紀文学写真史、Gustave Le Gray 研究	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

進捗していない点について記しておく。

第 1 点：現在、19 世紀フランスの写真家ギュスターヴ・ル・グレーの小伝を執筆している。当時の一次資料の（二つのうちの）ひとつ Leon Maufras の pseudo-nécrologie(偽・死亡記事),1859.があり、その翻訳を試みている。下訳はほぼ出来上がっているのだが、「偽・死亡記事」がなぜ書かれたのかその背景を調べていくうちに視点の変更をせざるを得ない問題に逢着した。

というのは、ちょうどこの頃（1859-60）ル・グレーの写真館経営の失敗が明らかになり、キャプシーヌ大通りの豪華な写真館を手放すことになった。Sylvie Aubenas の Le Gray 評伝などでは、ル・グレーの芸術家特有の金銭感覚や経営観念の欠如などが彼の破産の主な原因として描かれている。しかし要因はそれだけではなく、当時の写真をめぐる状況が短期間のうちに激変していたことにもあるように思われるようになった。

McCauley, Elizabeth Anne. *Industrial madness : commercial photography in Paris, 1848–1871*, Yale University Press, 1994 この研究書は、従来芸術史から考察されることが多かった写真史研究に新たな視点を加えた。’ In 1848 thirteen photographic studios were listed in commercial directories for the city of Paris. By 1868 this number had expanded to approximately 365.”とあるように 19 世紀中葉急速に発展した写真産業の実態を調査・研究したものである。

マコーレーは”Well-born individuals at times transformed a pastime into an occupation, creating gray areas between commercial and amateur categories. External clues provide good evidence for how these photographers defined themselves and how, therefore, they have been dealt with in this book. A paid listing in a commercial directory as a “photographer” is a good indication that an individual is offering his or her services to the general public and is paying the patente tax. Gustave Le Gray, for example, who began taking pictures as early as 1847, did not appear in a commercial directory as a photographer until 1850...” のようにも述べて、アマチュア/芸術家の区別だけではなく、このころから職業人としての「写真家」という概念が生まれていることを「パリ商業年鑑」などの資料から解き明かしている。そのような巨大な産業化という流れの中でル・グレーの「破産」問題をみてみると、たんに個人的経営才覚の欠如だけでは帰せない問題にも触れる必要があると感じてきた。

第 2 点：また、ここには詳述はしないが、1848 年二月革命時のル・グレーの芸術活動についても調べが足りていない。19 世紀を代表する小説家フローベールの初期の作品『感情教育』第三部で主人公フレデリックが愛人とともに二月革命のパリから逃れて近郊の観光地であったフォンテーヌブローの森に行楽する場面があるが（フロベール/太田浩一訳『感情教育』下巻 光文社古典新訳文庫,2014. pp.187-216）、ちょうど同じ時期にル・グレーもフォンテーヌブローの森の写真撮影に没頭している。またフロベールの描く二月革命の暴動シーンは、ル・グレーの写真館のあるキャプシーヌ大通りでも起こっていた。Aubenas 女史や最初のル・グレーの伝記作者 Eugenia Parry Janis が触れていないこの点に言及したいと思っている。

第3点：当時の帝国主義的な仏英の特許権争いにもル・グレーは巻き込まれている。le négatif sur verre au collodion humide/le négatif sur papier sec（湿式コロディオンのガラス板ネガ/乾式紙ネガ）を1848から50にかけてル・グレーは発明し、それを本にするが、イギリスの化学者 Frederick Scott Archer との特許権裁判に負けて、特許は得られなかった。このような出来事はカラー写真の発明時に詩人兼科学者シャルル・クロスにも、また写真草創期の英国の発明家兼写真家 William Henry Fox Talbot のカロタイプに関しても、英仏の特許をめぐる裁判は起こっている。「発明の世紀」だったこの時代には珍しいことではないが、ル・グレーの功績を語る上で、避けては通れない事柄である。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

なし

【著書・論文（査読なし）】

なし

【学会発表等】

なし

3. 主な経費

書籍、タブレット購入

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

なし